

2024年度 大麻藤認定こども園 関係者評価報告書

2025年2月18日

1 評価活動のねらい

アンケート（職員・保護者）に基づく自己点検・自己評価を実施し、その結果を学校関係者評価委員に説明し評価を受けることによって、大麻藤認定こども園の運営と教育・保育内容を客観的に評価し、その改善に主体的に取り組み向上を図ることをねらいとする。

2 教育目標と2024年度の重点

＜教育目標＞

- ・自分を信じ、自分を愛することができる子ども
- ・思いやりや感謝の心を持てる子ども
- ・主体的に、生き生きと生活できる子ども

「自分でしたい！」を大切に、
「自分でできた！」という喜びを積み重ねることにより、
主体的に生き生きと人生を歩いていくための力を養います。

＜2024年度 園経営の重点＞

目指す姿：子どもが成長し、保護者が満足感を得て、関わるもの皆が幸せを感じる園

「笑顔」と「あいさつ」⇒子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合う！

3 評価活動の流れ

- 1月 職員・保護者アンケートの実施と集約
アンケート結果に基づく自己評価 → 自己評価書の作成
- 2月 学校関係者評価の実施
学校関係者評価報告書の作成
- 3月 評価結果の公表（ホームページ）
次年度方針の提示

4 2024年度経営の重点の達成方策とその振り返り

《2024年度 園経営の重点》

目指す姿：子どもが成長し、保護者が満足感を得て、関わるもの皆が幸せを感じる園

「笑顔」と「あいさつ」⇒子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合う！

1 安心安全な環境づくり

- ・職員が安心して働ける職場 ⇒ 職務意欲の向上
- ・「やりがい」を感じる雰囲気 ⇒ 成果を生む業務推進
- ・危機から逃げない 一歩近づく ⇒ 事故の未然防止、早期対応・解決

2 園運営の目的の焦点化と共有

- ・「何のために」を皆で考える ⇒ 目的達成を自分事とする職場風土
- ・成果を捉えて皆で喜ぶ ⇒ プラス思考の好循環

3 経営安定・園児獲得の工夫

- ・保護者との良い関係をつくる ⇒ 「安心」と「喜び」がプラスの口コミに
- ・HP インスタ LINE パンフ ⇒ 顧客リスト化の仕組みと関係づくり



《2024年度 園経営の重点達成に向けた活動の振り返り》

目指す姿：子どもが成長し、保護者が満足感を得て、関わるもの皆が幸せを感じる園

「笑顔」と「あいさつ」⇒子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合う！

目指す姿の達成に向けて

1 安心安全な環境づくり

2 園運営の目的の焦点化と共有

目指す姿の出発点は、「職員が安心して働ける職場」と「明確な目的に向かう組織」を作っていくこと。職員が自分事となる取り組みを実施。

❖職員アンケート⇒フィードバック⇒語り合い⇒フィードバック

6月「大麻藤をどんな園にしたいか。そのために私たちは何をすべきか」

12月「業務の改善（働き方改革）に向けた業務見直しアイデア」

⇒職務意欲の向上・目的達成を自分事とする職場風土・プラス思考の好循環

3 経営安定・園児獲得の工夫

保護者の「安心」と「喜び」でプラスの口コミを広げる。HP、インスタ・ブログ、公式LINE、パンフレット、名刺カードなどの工夫。

⇒未就園クラスの人気上昇 来年度満3歳・年少入園児増加

5 職員アンケート結果と考察

(1) 職員アンケート

お名前 _____

《お願い》 2024年度園経営の重点の意識化や達成状況を中心に職員アンケートを実施します。「自分はできているか？」の視点を基本に回答し、**1月22日(水)まで**に松本のボックスに提出してください。

(4：できている 3：どちらかというのでできている 2：どちらかというのでできていない 1：できていない)

	評価項目	自己評価
1	カトリック認定こども園としての宗教的情操教育（園の宗教的環境、日々のお祈り、クリスマスに向けての取り組みなど）に取り組み成果を上げている。	4 3 2 1
2	「笑顔」と「あいさつ」に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことに取り組んでいる。	4 3 2 1
3	職員皆が安心して働ける職場となるよう相手を慮る（おもんばかり）言葉・行動・態度・仕事の仕方を意識して取り組んでいる。	4 3 2 1
4	日常の保育や行事の成果を捉えて皆で喜ぶ、そんなプラス思考の好循環が生まれる職員集団の雰囲気になっている。	4 3 2 1
5	自分の職務に「やりがい」と意欲を持って、子どもの成長に向けての成果を生むことを目指して業務を推進している。	4 3 2 1
6	日常の保育や行事を「何のために」やっているのか、「子どもにこんな力を身につけさせたい」という目的達成を自分事とする意識を持って業務を推進している。	4 3 2 1
7	子どもの確かな成長に向けて、子ども一人一人の人格を尊重した声掛けや関わり、子どもの主体性を高める保育や環境設定に取り組んでいる。	4 3 2 1
8	常に事故の未然防止、早期対応・解決を心がけ、疑問や異変（ヒヤリハット）を確認・連絡・報告（かくれんぼう）するなど、「危機から逃げない。一歩近づくと」という対応を取っている。	4 3 2 1
9	「めばえくらぶ」や「ひよこくらぶ」の運営やホームページ、Instagram、ブログ、LINE、パンフレットの工夫は、保護者のニーズに合致し経営安定・園児獲得に向けて成果を上げている。	4 3 2 1
10	業務の改善（働き方改革）に向けた業務の見直しを自分事と捉えて積極的にアイデアの生み出しに取り組んでいる。	4 3 2 1
11	保育者としての資質・能力の向上を図るため、主体的・計画的に研修会に参加するとともに、自ら調べたり本を読んだりするなどの自己研鑽に努めている。	4 3 2 1

自由記述（感想や改善方策など）

(2)結果

(4：できている 3：どちらかというのできている 2：どちらかというのできていない 1：できていない)

1	2	3	4	5	6
カトリック認定こども園としての宗教的情操教育(園の宗教的環境、日々のお祈り、クリスマスに向けての取り組みなど)に取り組み成果を上げている。	「笑顔」と「あいさつ」に心がけ、子どもの成長・よさを保護者に伝えて喜び合うことに取り組んでいる。	職員皆が安心して働ける職場となるよう相手を慮る(おもんばかり)言葉・行動・態度・仕事の仕方を意識して取り組んでいる。	日常の保育や行事の成果を捉えて皆で喜ぶ、そんなプラス思考の好循環が生まれる職員集団の雰囲気になっている。	自分の職務に「やりがい」と意欲を持って、子どもの成長に向けての成果を生むことを目指して業務を推進している。	日常の保育や行事を「何のために」やっているのか、「子どもにこんな力を身につけさせたい」という目的達成を自分事とする意識を持って業務を推進している。
3.1	3.5	3.1	2.9	3.4	3.2

7	8	9	10	11
子どもの確かな成長に向けて、子ども一人一人の人格を尊重した声掛けや関わり、子どもの主体性を高める保育や環境設定に取り組んでいる。	常に事故の未然防止、早期対応・解決を心がけ、疑問や異変(ヒヤリハット)を確認・連絡・報告(かくれんぼう)するなど、「危機から逃げない。一歩近づく」という対応を取っている。	「めばえくらぶ」や「ひよこくらぶ」の運営やホームページ、Instagram、ブログ、LINE、パンフレットの工夫は、保護者のニーズに合致し経営安定・園児獲得に向けて成果を上げている。	業務の改善(働き方改革)に向けた業務の見直しを自分事と捉えて積極的にアイデアの生み出しに取り組んでいる。	保育者としての資質・能力の向上を図るため、主体的・計画的に研修会に参加するとともに、自ら調べたり本を読んだりするなどの自己研鑽に努めている。
3.1	3.0	3.2	3.1	3.2

《職員記述内容》

- ・自分に学びの足りないところがあり躓いたこともあったが、得たことを自分の役割に活かそうと努力はしてきた。
- ・ただ、自分に精一杯で園全体の業務改善にはあまり携わることが出来なかったこと、保育現場に目を向けられていなかったことは反省点である。
- ・乳児クラスの先生が自分が研修で学び得てきたことを皆に伝えていたのはとてもよかった。幼児クラスにも促せたらよかった。
- ・未就園クラスやSNSについて力を入れて取り組むことができた。
- ・未就園クラスで今後も充実した活動が行えるよう環境を工夫していきたい。未就園児用玩具棚を用意し、準備や片付けを簡単に行えるようにしたい。

- 宗教について学んでいく必要があると感じている。
- 関わりの難しいこどもが多く日々反省でした。子どもをよく知り、子ども主体の保育をもう少し実践できればよかったです。
- 子ども一人一人を尊重し、丁寧な声掛けを意識しようとしていましたが、日々の保育に追われ難しく感じました。
- 園内研修で増山先生の貴重な話を職員で共通理解できよかったですと思います。パートの先生たちにも次回是非参加してほしいです。
- この1年様々なことを考えながら過ごしてきました。来年度は皆が効率よく気持ちよく働けるような環境を作れたら嬉しいです。
- 今回のアンケートを通して自分の働き方を振り返る機会となったが、自信を持ってできているというところがあまりなかった。
- 自分が日々取り組んでいる仕事に対して、もう少し上手くできたのではないかという反省点が多かった。
- 次年度はもう少し良い雰囲気の中で仕事ができるように努力したい。
- まだまだ取り組めることはあると思う。
- 業務改善が良い保育につながるにはみんなで協力することが必要なので、同じ方向を向くためにどうするかも考えていかななくてはいけないと思う。
- 研修に参加し実践しているが、私もっとたくさんの絵本を読みたいと思っていたがまだ実行できていません。
- 引き続き頑張ります。
- 相手を慮る・・・について反省点があり自分の課題である。意識はしているが、共有すること、話し合うことが足りなかった。
- 業務の改善をできることは行っていき、気になる点があるときには伝えるようにしていく。
- 子ども一人一人と関わる中で、今後も子どもが主体となるような保育を心がけていく。
- 園長通信を通して、目指していくゴールがみんな同じだとわかり嬉しかったです。
- 同時に普段の関わりでは見えていないものがたくさんあることに気付かされました。
- 相手の立場や気持ちを慮りながら相乗効果でより安心と笑顔があふれる園にしていきたいです。

(3) 考察と今後の対応

□職員アンケートの結果は総じて高い傾向となった。特に項目2の「『笑顔』と『あいさつ』に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことに取り組んでいる。」は3.5と高評価だった。よい園づくりに向けた本年度の重点と位置づけ、職員皆で常に意識を高めて取り組んできた成果と捉えることができる。

□項目4の「日常の保育や行事の成果を捉えて皆で喜ぶ、そんなプラス思考の好循環が生まれる職員集団の雰囲気になっている。」は2.9であり、全項目で唯一3を下回った。よい園づくりの基盤として職員が安心して働ける職場づくりが大事であるという考えに基づき、職員同士相手を慮る言葉、態度、行動、仕事の仕方を意識して日々の業務を推進していくことを継続していく。

□項目8の「常に事故の未然防止、早期対応・解決を心がけ、疑問や異変（ヒヤリハット）を確認・連絡・報告（かくれんぼう）するなど、『危機から逃げない。一歩近づく』という対応を取

っている。」は3.0で他の項目と比較して低い評価となった。日々の終礼や打ち合わせ、乳児会議、幼児会議などで日常的にヒヤリハット事案を交流するなど、職員一人一人の安全に対する意識を高め自己の未然防止に向けた取り組みを強化していく。

□職員一人一人が「子どもが成長し、保護者が満足感を得て、関わるもの皆が幸せを感じる園」に向けて自分は何に取り組んでいくのかというよい園づくりを自分事とする意識を大切にして、職員相互の同僚性を高め組織体として向上していくことを目指す。

6 保護者アンケート結果と考察

(1)保護者アンケート

2025年1月16日

保護者の皆様へ

大麻藤認定こども園

2024年度 大麻藤認定こども園 評価活動へのご協力をお願い

大麻藤認定こども園では、園の運営や教育・保育活動についての評価を行い、改善に資する取り組みを行っております。

その一環として、保護者の皆様にアンケートのご協力をいただき、こども園の運営や教育・保育活動の改善に生かしていきたいと考えております。

つきましては、アンケートに可能な範囲でご回答いただき、**1月23日(木)まで**に提出していただきますようお願いいたします。

保護者アンケート

(4：そう思う 3：どちらかというと思う 2：どちらかというと思わない 1：そう思わない)

	評価項目	評価
1	カトリック認定こども園としての宗教的情操教育(マリア様像や聖堂での行事などの宗教的環境、日々のお祈り、クリスマスに向けての活動など)に取り組んでいますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。	4 3 2 1
2	園では、職員が「笑顔」と「あいさつ」に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことを大切にしていますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。	4 3 2 1
3	子どもの確かな成長に向けて、「子どもにこんな力を身につけさせたい」という目的を明確にして、その達成を目指して日常の保育や行事に取り組んでいますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。	4 3 2 1

自由記述（感想や改善のアイデアなど）

(2)結果(保護者向けアンケート結果公表文書)

2025年1月28日

保護者の皆様へ

大麻藤認定こども園

2024年度大麻藤認定こども園評価活動 保護者アンケート結果について

大麻藤認定こども園の運営や教育・保育活動についての評価の一環として、保護者の皆様にアンケートのご協力をいただきました結果について報告いたします。

保護者アンケートの結果を今後のこども園の運営や教育・保育活動の改善に生かしていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

保護者アンケート結果

(4：そう思う 3：どちらかというと思う 2：どちらかというと思わない 1：そう思わない)

	1	2	3
項目	カトリック認定こども園としての宗教的情操教育（マリア様像や聖堂での行事などの宗教的環境、日々のお祈り、クリスマスに向けての活動など）に取り組んでいますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。	園では、職員が「笑顔」と「あいさつ」に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことを大切にしていますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。	子どもの確かな成長に向けて、「子どもにこんな力を身につけさせたい」という目的を明確にして、その達成を目指して日常の保育や行事に取り組んでいますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。
平均	3.7	3.9	3.8

□回答数61（回答率84.7%）

□数多くの保護者の皆様にアンケートのご協力をいただきましたことに感謝いたします。3つの項目ともに平均すると高い評価をいただきました。特に2の「職員が『笑顔』と『あいさつ』に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことを大切にする取り組み」について多くの保護者の皆様の共感をいただき、職員一同嬉しく感じております。

□また、自由記述にたくさんの感想や改善へのアイデアをいただいたことにも感謝いたします。記載していただいた内容とそれを受けての園としての取り組みについて以下に記載していますのでご覧ください。

保護者自由記述にお寄せいただいた感想や改善のアイデア

★改善のアイデアを寄せていただきました。

- 参観日がもう少したくさんあるといいなと思います。子どもからだあまり教えてくれないので、バスも玄関のお迎えでも「今日は何をしましたよ」の一言でいいので教えてもらえると子どもとの会話にもつながるので嬉しいです。
 - クラスの参観・懇談が一学期に一度しかないので、三学期にもあると一年を通しての子どもたちの成長を最後に担任の先生や保護者と喜び合える場になるのではと思います。
 - 先生やお友だちが大好きで人見知りだった子供が見違えるように社交的で気配りのできる子に育ちました。園での関りがとても大きいと思うので、少人数・縦割りの体制と先生方に感謝しています。その良さや園で子供たちがどのように過ごしているかわからないと話す親御さんに会うことがあります。せっかく素敵な取り組みをたくさんされているのもったいないと思います。ブログやインスタの頻度や写真の数、レーザーキッズの活用など、もっと親御さんたちに今日や昨日の様子が伝わる対策ができると嬉しいです。母たちはただ写真が見れるだけでも安心すると思います。年少さんは特に！大変だと思いますが参観日を増やしたり…。誕生会は司会をする年長さんの親も見れたら嬉しいだろうなと思ったり…。お迎えの時に、「今日は〇〇をしたみたいですよ」「〇〇ちゃんと遊んでましたよ」とか一言でいいので「ありがとうございました。また明日」だけでなく、その言葉があるだけでもそこから子どもが思い出して話が広がったりします。子どもに「何してたの？」と聞いても忘れていくことが多いです。悪い事やトラブルだけでなく、特別できたことや先生方が良いな、素敵だなと思ったことを電話や直接伝えてくれたり、メモでも何でも…。もっと園での取り組みが保護者の皆さんに伝わってほしいです！長々とすみません。よろしくお願いします。
- ⇒こども園でのお子さんの姿を自由に観ていただけるように、幼児クラスの「自由参観日」を4月、10月の年2回実施することとします。
 - ⇒日常的に保護者の皆様とのコミュニケーションを深めて、お子さんの成長をお伝えすることを大切にします。
 - ⇒ブログやインスタに加えて、レーザーキッズで月一回配信しているクラス便りを写真の配信に変更して回数を増やしていきます。
 - ⇒誕生会では、司会のお子さんの保護者にも案内することとします。

- ・給食で「〇〇がおいしかったよ！！ お母さん作って！！」とときどき言われて料理名を検索して調べて作ってみるのですが、「う～ん、違う×」となることがありました。バス利用だとお料理の見た目もわからないので、時々苦戦します…（炒め納豆など）。時々でよいので「THE 幼稚園給食」といったメニューをブログで見せていただくととってもとっても助かります。

⇒ブログのリクエストありがとうございます。給食のブログ配信、さっそく開始しますね！

- ・子どもだけでなく、家庭全体を温かく見守って下さる園の方々に感謝しています。ありがとうございます。体を動かすアクティビティ（ただの園庭遊びや散歩などでも）や、ひかり組でしていたようなどろんこ遊びが増えたら嬉しいなと思います。

⇒子どもが主体的に取り組む遊び、試行錯誤しながら進める遊び、体を動かす遊びなど…楽しい遊びを工夫していきます。

- ・日々様々な経験をさせていただき感謝しています。子どもが観劇がすごく楽しかったと話していました。こういった芸術にふれる機会がこれまであまりなかったので今後も経験させてあげられると嬉しいです！

⇒来年度も芸術鑑賞の行事を計画していきたいと思います。

- ・観覧制限もなくなってきているため、クリスマス会など、人数が多いと園のホールだと窮屈に感じるため、会場を借りるなど難しいのでしょうか。

- ・たて割り保育のおかげで年下の子を気にかけてたり、お手伝いしたり、また、何かをしてあげたことで自分の自信につながっていたりと、ひとりっ子甘えん坊の娘も少しずつおねえさんになることができました。ありがとうございます。昨年のクリスマス会では、予想をこえる立派な姿が見られ、年長さん全員の成長を感じられました。とても感動しました。準備やご指導していただいた先生たちに感謝いたします。保護者の席がもう少し多いとありがたいと思いました。よろしく願いいたします。

⇒クリスマス会では年長・ほし組合同の演目で観覧する皆様の数に対してホールが手狭だったため混みあうこととなりご迷惑をおかけしました。来年度の年長は10人ほど少ないので今年度のような混み具合にはならないと思われることから園ホールでの開催を予定しています。今後数年先を見据えて別会場での実施についても検討することとします。

- ・発表会の衣装の準備や遠足の準備など、もう少し早くお知らせして頂けると嬉しいです。（※土曜日勤務などで、買いに行ける日が限られると大変なので…） すいません。

⇒保護者の皆様にご協力いただくことについては、早くお知らせするようにしますね！

★職員のあいさつや笑顔、保護者の皆様との対話についての言葉を寄せていただきました。

こども園では、職員が「笑顔」と「あいさつ」に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことを大切にしていますが、その取り組みについての温か

い言葉をいただき、職員一同嬉しい思いです。今後とも「笑顔」や「挨拶」に心がけ、保護者の皆様とのコミュニケーションを深めて、お子さんの成長をいっしょに喜び合っていくことを大切にしていきます。

- 日頃子どもたちが大変お世話になっております。どの先生に会っても、今日の子どもたちの様子を詳しくお話ししてくれ、いつも安心して通わせることができているとともに、先生方の視野の広さにいつも驚かされております。子どもの口から「〇〇先生が髪型ほめてくれたよ」「〇〇先生が塗り絵上手だねって言ってくれたよ」等、先生方からかけてもらった言葉を日々嬉しそうに報告してくれます。そのおかげもあり、子どもから「お母さんの服ステキだね」「お父さんの字キレイだね」等、ふとしたことでもほめてくれます。いつも前向きな声かけ、本当に感謝しております。今後どうぞよろしくお願いいたします。
- 朝送った後、玄関の先生に「お願いします！」と言って行くと、いつも「行ってらっしゃい！」、お迎えに行くと「お帰りなさい！」と言ってもらえて、仕事前後に誰かにそう言ってもらえると嬉しい・・・と実感している母です。(笑)
- バスを利用しています。どの先生も朝早くから笑顔で優しく声かけをしてくださっていて、我が子は毎日元気に乗車していきます。その様子を見ている親も安心して園にお任せすることができています。ありがとうございます。
- 子どもの自立に向けて、子どもに合わせた成長への声かけなどをしていただき身の周りのことなど自分でやろうという意識が芽生えました。他のクラスの先生もいつもこやかにあいさつをしてくださり、子どもの様子を伝えてくれて、園全体で子どもを見守ってくださっていることを感じます。
- お迎えや行事などで園に行くと先生方がみんな笑顔であいさつしてくれて、子どもたちの名前を把握していて夫婦ともに感心しています。バスの時も時間が短い中で園での様子などたまに教えていただくことがあり嬉しく思います。
- 定期的に個人懇談をしたり、送迎の時間にも園での様子や頑張っている事、できるようになった事、これからの目標等を伝えてくれたりいっしょに考えてくれるので、安心して預けることができますし、子どもとの会話も楽しくなっています。
- 2の評価項目について成果を上げているかは、うちの子に関しては難しいところではありますが。今でも恥ずかしくてすごく小さい声でのあいさつになっているのですが、先生方のご協力引き続きお願い致します。毎回子どもにしっかりと顔を見て名前を呼んでのあいさつありがとうございます！
- どの先生方もいつでも気持ちよく挨拶をしてくれ、子どもの様子もいろいろ伝えてくれます。先生間での情報共有や、子ども・親の名前を覚えていたり、入園当初からすごいなー・ありがたいなーと思っています。日々あたたかい環境の中で保育をしてくださり、とても感謝しています。今後ともよろしくお願いいたします。

★お子さんの成長についての思いを寄せていただきました。

こども園での生活を通したお子さんの成長を保護者の皆様が実感している言葉をお寄せいただき、日々子どもたちに接している私たち職員も嬉しい思いです。今後とも、子どもたちの確かな成長に向けて、「子どもにこんな力を身につけさせたい」という目的をより一層明確にして、その達成を目指す取り組みを進めていきます。

- 先生方の手厚い保育のおかげで日々幼稚園を楽しんでいます。そして、日々の成長も感じています。いつもありがとうございます。
- いろんな職員の方と子どもたちの距離が近く、園に通うことが楽しんでいます。大好きな先生やお友達がたくさんいるようです。これからもよろしくお願いします。
- いつも楽しそうに園に通っています。お話しもすごく上手になって安心して通わせられます。いつもありがとうございます。
- いつも丁寧に接していただき感謝しています。身支度、歌、シール、ダンス、言葉など、どんどん上手にできるようになっているなと感じます。行事のように日常とは少し違う活動にも少しずつ安心して楽しく取り組めるようになってきて嬉しく思います。
- 娘を見ていると楽しい園での生活が送れているんだなと感じます。先生たちと友達に感謝です。
- 園生活で覚えたお祈りを家でもやって見せたり、聞いたお話を家で伝えてきたりとたくさん日々吸収しているんだな—と思っています。しっかり意味まで理解しているのかはまだ難しいところですが、今後成長していくにつれてまたわかってくるのかなと思います。
- 以前通っていた保育園は、本人がまだ小さかったこともあり外で遊ぶ機会が少なかった分、こちらに通うようになってからこんなに外で遊ぶことが好きだったのかと気づかされました。日々成長を感じており、それを見るのがとても楽しいです。
- 各お祈りを家でたま—に見せてくれるのですが、ほほえましく思います。心の優しい人間になってほしいのでよい影響になっていると感じます。
- 気が付くと出来ることが増えていて、行き渋りもほとんどしない子を見ているといかに園で楽しく充実した時間を過ごしているのかを実感する日々です。親ができないことをたくさん経験させてくれてありがとうございます。
- 特にあいさつをしっかりとできるようになったと思います。外に遊びに行った際にお店の人やバスの運転手さん、また、バスや電車などにもバイバイをしています。
- ビビリな娘がファイトカードのおかげでてつぼうやとび箱等アクティブなことをやれるようになりました。下の子も来年度入園するのでぜひ続けていただきたいと思います。

(3) 考察と今後の対応

- 保護者アンケートの結果は総じて高い傾向となった。特に項目2の「園では、職員が『笑顔』と『あいさつ』に心がけ、子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合うことを大切にしていますが、その取り組みが成果を上げていると思いますか。」は3.9と高評価だった。本年度の重点と位置づけ、職員皆で意識を高めて取り組んできたことが保護者に伝わっていると捉えることができる。
- 保護者から頂いた改善のアイデアを生かした改善策（保護者向けアンケート結果公表文書記載内容）を実施していく。
- 今後ともカトリック園としての宗教的情操教育を大切に、「笑顔」や「挨拶」に心がけて保護者とのコミュニケーションを深めて子どもの成長をいっしょに喜び合っていくこと、「子どもにこんな力を身につけさせたい」という目的を明確にした取り組みを進めていく。

7 こども園関係者評価委員会からの意見

(1)2024 年度経営の重点と達成方策・振り返り

□園経営の重点が「目指す姿と具体的な活動」に絞られている点が評価されます。「笑顔」と「あいさつ」が分かりやすくこども園にぴったりであり、大麻に関わる全ての人々が意識できる日常的な目標となっています。

□笑顔・あいさつを心がけ、子供の成長を伝えて保護者と喜び合う、というのは高評価のようです。これは保育の基本となるものでしょうから、高評価であるのは喜ばしいです。当り前のことでも職員同士意識的に笑顔でいるよう気を付けているのは素晴らしい。

(2)職員アンケート結果について

□自己評価の持つねらいが職員に周知され、意欲的な自己評価がなされていると思います。「好循環を生む職員集団の高まり」は 2.9 です。これは職場づくりの根幹で永遠の課題です。貴園が目指す日々の業務の推進と課題する姿勢を評価したいと思います。

□自己の役割を自覚し協力的な保育体制を構築していくことは実践ではなかなかうまくいきません。価値観も性格も人間性も異なる教職員集団で力を合わせることの難しさは十分に分かります。貴園の地道な取り組み、反省に基づく次年度への展望づくりに期待しています。

□『長通信を通して目指していくゴールがみんな同じだと分かり落しかった』とありましたが、この地道な園長通信が教職員の意識を変えるのだと思います。

(3)保護者アンケート結果について

□アンケート回収率 84.7%は高い数字ですね。共働き家庭の増加や日常の忙しさ、子育て世代の考え方の多様化等により様々な意見があるなかで、この回収率は評価されますね。

□大部分の保護者意見は貴園に好意的ですね。これは園で働く全ての皆さんの前向きな保育教育の取組の成果だと思います。参観日の増要望、三学期の懇談希望、ブログ充実とわが子の情報配、給食ブログ配、芸術鑑賞計画、クリスマス会場の検討・沢山の要望意見が寄せられています。次年度への園長先生のビジョンが示されているのがいいですね。

□貴園に通う園児たちの「澆刺としたこどもらしさ」「保育者と交わす何気ない言葉のやり取り」保護者の「貴園への全幅の信頼と安心」等がアンケート結果の文章から感じ取れます。

(4)その他園に対するご意見等

□保護者の価値観の多様化対応や日々の保育活動、行事の充実等にご苦労された一年だったと推察します。時代の進む速さやスリム化に対応し創意工夫されたことがよく分かります。次年度も保護者の意見や要望に耳を傾け、大麻の教育をより向上させて下さい。

□重大事故の発生が増えている現状の中、貴園の事故防止、再発防止に配慮されている様子がよく分かり安堵しています。これからも「健康・安全への配慮」を運営のベースにして下さい。

□「2024 年度目指す姿」が焦点化され実施・反省がなされています。次年度もより充実した園経営を推進されますよう祈念しております。

□宗教教育は人間が生きて行く上での目的となるものなので特定の宗数にこだわらなくても良いから、『大いなるもの』めに生かされていることに感謝することを心がけて欲しいです。

□保護者の方々が概ね職員の方々の対応に満足している様子なので、素晴らしいと思います。プ

ログで園での生活を見られることは素晴らしいですね。どんどん教会をお使いください。
□職員の皆さんには、大変頭がさがる思いです。ありがとうございます。先生方には、無理をせずに体に気をつけてください。

8 こども園関係者評価委員会からの意見を踏まえた次年度の取り組みの方向性

目指す姿

子ども・保護者・職員の皆が幸せを実感できる園

～大麻藤を『安心と笑顔があふれる』園にしよう！～

子どもの成長・がんばり・よさをしっかりと捉えて、それを保護者に伝えて喜び合うことを大切に！

そのために職員みんなでやるべきこと

- 職員のアイデアによる業務改善（働き方改革）
- 職員同士の相手を慮（おもんぱか）る言葉・態度・行動
- 「何のために」を皆で考え目的達成を自分事に
- 成果を捉えて皆で喜びプラス思考の好循環

(1) 職場づくり※最重要ポイント

- ・職員の働き甲斐と前向きな気持ちの高揚 ➡ キーワード：プラスのコミュニケーション
- ・職員同士のよい関係性の構築 ➡ キーワード：相手を慮る（おもんぱか）る言葉・態度・行動・仕事の仕方
- ・「素敵な園にしたい！」を職員みんなが自分事 ➡ キーワード：目的意識・焦点化・共有

(2) 教育・保育活動

- ・職員と園児との安心感・信頼感で結ばれた関係を築き、園児が主体的に考え、試行錯誤しながら楽しく豊かに活動できる環境を整え、園児が確かに成長する教育・保育を展開する。
- ・小学校との「滑らかな接続と適切な段差」を意図し、1年生終了時の育ちの姿をゴールと見据えて、乳幼児期の発達段階に応じて遊びを通して心身の調和のとれた発達を目指す。

(3) 保護者との関わり

- ・「笑顔」と「あいさつ」 ➡ 子どもの成長・がんばり・よさを保護者に伝えて喜び合う！
- ・インスタ・ブログなどで園の魅力を積極発信する。

(4) 園児募集

- ・以下の取り組みを展開して園児の増加につなげる。
 - *公式 LINE による未就園児クラス参加募集の2歳児クラスへの拡大
 - *保護者が魅力を感じる未就園児クラスの活動内容の工夫
 - *インスタ・ブログによる魅力ある園情報の発信
 - *園探しをする保護者の心に刺さるHP トップページへの工夫
 - *QRコード付きカード・名刺の積極的な配布